

地域医療支援病院 登録医のご紹介



山本耳鼻咽喉科医院
山本 邦之 先生
 住所：西脇市市原町 17-1
 TEL：0795-23-8533
 診療科目：耳鼻咽喉科



| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 8:30～12:00 | ● | ● | ／ | ● | ● | ● |
| 午後 3:30～6:00 | ● | ● | ／ | ● | ● | ／ |

- ① 診療を開始されてどれくらいになりますか。
平成7年6月に開業したので23年と3か月です。24年目です。
- ② どのような患者さんが来院されますか。
アレルギー性鼻炎の方が多いです。舌下免疫療法も行っています。
- ③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。
わかりやすくお話をします。通院していただく機会をなるべく少なくする。
- ④ 地域との連携について。
他の医療機関（病院・個人開業医院・歯科医院など）との連絡を密にするために文書での連携を心がけています。



折戸整形外科医院
折戸 隆 先生
 住所：西脇市野村町 1795-423
 TEL：0795-23-8420
 診療科目：整形外科・外科・
 リハビリテーション科



| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00～12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 午後 3:30～6:30 | ● | ● | ● | ／ | ● | ／ |

- ① 診療を開始されてどれくらいになりますか。
平成7年5月に開業ですので23年になります。
- ② どのような患者さんが来院されますか。
小児から高齢者まで幅広い年齢層です。それぞれの年齢によって疾患の特徴があり小中高生は外傷やスポーツ傷害、中高年は加齢的な疾患、外傷が主です。その他予防注射も施行しています。
- ③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。
患者さんとのコミュニケーションをしっかりと何でも気楽に話ができる事、出来るだけ待ち時間を減らす事を心がけています。
- ④ 地域との連携について。
西脇病院をはじめ近隣の病院、診療所とも連携をしっかりと取っています。

地域医療連携室だより
2018年10月発行

〒677-0043 西脇市立西脇病院
 兵庫県西脇市下戸田652番地の1
 TEL：0795-22-0111(代表)

地域医療連携室 直通
 TEL：0795-22-8270
 FAX：0795-23-4580

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital



地域医療連携室だより

HP：<http://www.nshp.jp/>

乳腺外科の紹介～地域医療機関の先生方へ

乳腺外科初診は月～木の11時までの受付とさせていただきます。
 専門外来として、遺伝相談外来（遺伝性乳がんのカウンセリングとBRCA遺伝子検査）とセカンドオピニオン外来を併設しておりますので、ご紹介をお待ちしています。
 しこりのみでなく、乳房痛や検診で要精査の患者さんも初診時に問診、視触診、画像診断でしっかり診せていただいています。経過中特変なければ検診に戻っていただくようにお勧めしております。その後も当院でのフォローを希望される場合は、人間ドックや乳腺ドック【トモシンセシス併用】をご活用ください。ご理解いただければ幸いです。

平成30年10月1日現在

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|-------|--------------------------------|---------------------------------|-------|---|
| 乳腺外科 | 三輪 教子 | 三輪 教子 [ただし、遺伝相談 外来は予約のみ] | 三輪 教子 〔午前診〕 (セカンドオピニオン外来) | 三輪 教子 | |

遺伝相談外来は、火曜日（予約制）です。
 セカンドオピニオン外来は、水曜日午前（予約制）です。

当院における乳がん治療の特徴

- 1) 診療科長の三輪は、昭和大学乳腺外科（中村清吾教授、現日本乳癌学会理事長）で研鑽を積み、乳腺専門医として日本乳癌学会の診療ガイドラインに則った乳腺診療実施
- 2) 昭和大学の関連施設として個々の患者さんに最善の治療を提供
- 3) 手術、抗がん剤等薬物療法、術後のフォローを、他科・多職種・他部署との連携によって実施しており、治療の完遂率ほぼ100%
- 4) がん診療連携拠点病院として放射線治療施設（放射線治療専門医常勤）＋常勤病理医がおり、診断・原発治療・再発後の治療および緩和ケアを高水準で提供

安心して患者さんをご紹介いただける3つの理由

- 1) 乳腺診療担当医、マンモグラフィやエコーの検査技師は読影資格を持つ女性であり、加えて理学療法士・病棟薬剤師・外来化学療法専門看護師もすべて女性です。
- 2) 日本乳癌学会・日本乳癌検診学会の定める乳がん検診の精密検査実施機関基準を満たしています。



3) 全国に先駆けて15年以上前から、術後翌日から女性の理学療法士によるリハビリテーションを施行+病棟看護師による教育でリンパ浮腫はほとんどなく、日常生活にスムーズに戻られています。

女性スタッフによる連携があり、治療が継続しやすく良好な予後と質の高いQOLの維持に直結しています。女性スタッフのみなさんからのひとことです。

1) リハビリテーション部

肩関節の可動域練習、筋力練習などの上肢機能のリハビリに加え、術後のリンパ浮腫予防のために生活指導も行っています。乳がん術後のリンパ浮腫の予防のために、クリティカルパスに生活指導を組み込んでいます。

2) 放射線部

MRI、CT、マンモグラフィの撮影を担っています。当院のマンモグラフィ装置は、座位でも撮影可能であり、また3Dマンモグラフィ（トモシンセシス）を撮影でき、高濃度乳腺にも対応可能です。読影資格を有する女性のマンモグラフィ撮影認定技師が丁寧で正確な撮影を行っています。左図は当院のマンモグラフィ装置です。



3) 検査部（エコー検査）

日本超音波医学会認定超音波検査士（乳腺領域のうち1名は日本乳がん検診精度管理中央機構の資格取得）の女性の臨床検査技師が検査をしています。また、乳癌が疑われた場合の病理検査の検体採取に関わったり、手術前のマーキングを乳腺担当医とともにしています。

4) 外来化学療法室

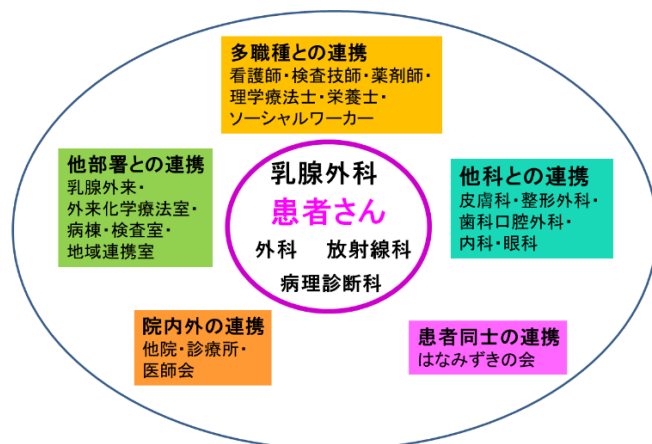
家庭や社会で様々な役割を担う多くの乳がん患者さんが通院されており、がん化学療法看護認定看護師として安全な医療と一人お一人に合わせたきめ細やかな看護が提供できるようチーム医療を推進しています。左図は患者さんへの、配布パンフレットの一例です。

◎ 対象疾患

乳腺疾患全般（乳がん、良性腫瘍、女性化乳房症、乳腺炎等）。乳がん検診年間約800名実施。

◎ 治療実績（2018年5月現在）

乳がん診療数は2013年度から急増し、2014～2017年の乳がん手術件数（年間平均）は35例/年。2014年4月～2018年5月の新規乳がん患者数は約250人、良性疾患約450人、乳がん検診要精査約600人、転移・再発患者約100人、男性乳がん・女性化乳房症など約50人、母乳トラブル約20人。



当院の乳がん診療を支える5つの連携

すべて常勤の医師・スタッフですから、急な対応ができて安心です！！

《医師紹介》

日本乳癌学会乳腺専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本内科学会認定内科医 検診マンモグラフィ読影認定医
検診乳房超音波読影認定医 家族性腫瘍コーディネータ
「緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会」修了



会場：西脇市立西脇病院
日時：平成30年7月21日（土）
午前10時～午後3時30分

地域住民に地域医療や西脇病院の現状、医療の大切さについて理解を深めてもらおうと、毎年西脇病院フェスタを開催しています。

グランドオープンから10年目を迎える今年は、『ヘソノオからつながる 未来へつながる 地域の絆』をテーマに、地域の関係団体の皆さんと一緒にさまざまなイベントを企画し、親しまれる開かれた病院づくりを目指して取り組みました。

まず、テーマに合わせ、命の誕生の場面を通じて、つながる命の尊さや絆の大切さを考える機会となりました。平成29年6月以降に西脇病院で産まれた赤ちゃん

の写真約200枚を展示し、そのほか産道体験や妊婦体験、赤ちゃんと一緒に作るアート写真撮影などの催しを行いました。

また、ヘリポートを開放し、普段は見ることのできない病院内部を含めた施設の探検ツアーを開催するなど、恒例のイベントも大盛況で、訪れた方は

総勢3,500名に
昇りました。

